

本城村民俗資料館蔵『御嶽経』（二種）紹介と翻刻

山の文化史研究会

本稿では、長野県本城村民俗資料館蔵『御嶽経』

二種を紹介・翻刻する。本城村は江戸時代から御嶽信仰の盛んな土地であった。『御嶽経』（イ本とする）は、折帖の装丁で、表紙一四・九×七・一cm。三十折。外題「御嶽経 全」、内題・尾題はない。

刊記には「信州松本本町二丁目／高見屋甚右エ門／同善光寺／葛屋伴五郎／同伊奈郡板木所／九中重治兵衛」とあり、信州松本高見屋甚右エ門の名が見える。年紀はないが幕末頃の版行と思われる。内容は、「三條錫杖経」、「仏説聖不動経」、「六根清浄大祓」、「三種太祓」、「一切成就祓」、「身曾貴太祓」、「心経」、「四句文」、「荒神四句文」、「一字金輪真言」からなる。

編者である明岳院広山は、御嶽行者として名高い普寛（一七三二～一八〇一）の弟子で、俗名和田孫

八、普寛の第一回の御嶽登拝から随行している。「荒神四句文」には、家内繁盛、息災延命、「所願成就」などの願いとともに、「講中安全災難消除」と御嶽講中の旅の安全を祈る文言なども見え、『御嶽経』を懐中に納め参拝に向かった人々の姿を垣間見ることができる。

『御嶽経』（ロ本とする）は前半部が欠落しているが、イ本と同様に折帖の装丁で、一面一六・五×七・一cm。二十六折。刊記には「版權免許 明治十年七月廿七日／出版 同十年八月／神道第三部 栃木縣平民／編輯人 大講義 青木幸躬／信濃國筑摩郡南深志町寄留／信州松本南深志町／發兌書林 高美甚左衛門」とあり、御嶽教の大講義である青木幸躬編集のもと、明治十年（一八七七）八月、イ本と同様に、松本の高見屋で版行されている。内容は、

「大祓」(前欠)、「天津祝詞」、「遙拝詞」、「降神詞」、「奉齋詞」、「昇神詞」、「称讃歌」からなる。編者青木幸躬については未詳である。

江戸時代後期、全国に数百の講社が散在し、行者に導かれた信者たちで賑わっていた御嶽山も、明治元年に始まる神仏分離・廃仏毀釈運動の結果、その姿を変えていくことになる。明治政府の宗教政策に対応して新たに神道系の教派神道がいくつも登場し、江戸時代から続く講社も、どこかの教派神道に所属しての再出発を余儀なくされるのである。数ある教派神道の中でも、御嶽においてもっとも勢力を誇ったのは、下山応助(生没年未詳)率いる御嶽教(会)であった。御嶽教は明治六年(一八七三)に成立、明治十五年(一八八二)に一派独立する。『御嶽経』(口本)は御嶽教の大講義の立場にあった青木幸躬が編集にあたったと考えられる。明治元年を挟んで版行された『御嶽経』二冊は、全く内容の違うものとなっている。幕末に版行され

たと考えられるイ本は、不動経や諸神の真言などが書き留められ、神仏習合思想の色濃いものとなっている。対して口本は、祓や祝詞が中心であり、仏教色が払拭されていると言えよう。本城村に残る『御嶽経』二冊は、明治時代を境にした時代の推移を鮮やかに照らし出しているのである。

また、全く内容の違う『御嶽経』を版行している松本の書肆、高見屋甚右(左)エ門にも注目する必要がある。当時、講中の人々で賑わう御嶽は、まさに一大「観光地」であった。御嶽登拝の必需品であった『御嶽経』の出版は、十返舎一九とも親交があった、地方の有力書肆の眼力の高さを物語っている。翻刻については、河内聡子(信州大学人文学部、日本文学三年)、清水葵(同四年)、小嶋志織(同三年)、小林ゆかり(同三年)、佐藤三千恵(同三年)、渡辺匡一が担当した。

【参考文献】

生駒勘七 『御嶽の歴史』（木曾御嶽教会 一九六六年五月）

同 『御嶽の信仰と登山の歴史』（第一法規 一九八八年七月）

鈴木俊幸 『一九が町にやってきた』（高美書店 二〇〇一年一月）

凡例

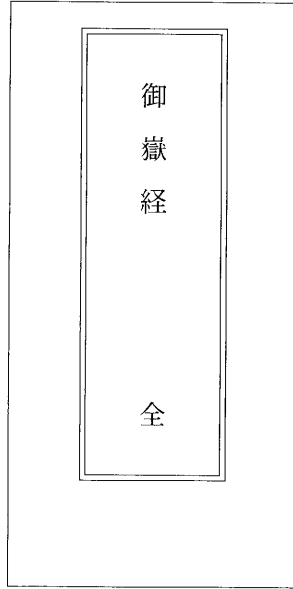
一、文字は現行の字体に直した。

一、仮名遣い・改行は原文通りとした。

一、『御嶽経』（口本）に関しては、割注部分を「」で括った。

【翻刻】

『御嶽経』（イ本）



朝暮果誦
先普礼
次塗香文
次護身法
次清三卷

口伝
口伝
口伝
印明口伝
口伝

三條錫杖經

手執錫杖
説大施会
供養三宝
而如実道
以清浄心
発清浄心
願清浄心
当願衆生
虚空満願
法界圍繞
値遇諸仏
当願衆生
大慈大悲
俗諦修習
一切衆生

当願衆生
而如実道
説大施会
供養三宝
供養三宝
供養三宝
供養三宝
作天人師
度苦衆生
供養三宝
速證菩提
真諦修習
一切衆生
大慈大悲
一乘修習

大慈大悲

恭敬供養

僧宝一体三宝

一切衆生
仏宝法宝

仏説聖不動經

而時大会有一明王。是大明王。

有大威力。大悲德故。現青黒形。

大定德故。座金剛石。大智恵故。

現大火焰。執大智劍。害貧瞋癡。

持三昧索。縛難伏者。無相法身。

虚空同体。無其住所。但住衆生。

心想之中。衆生意想。各各不同。

隨衆生意而作利益。所未円満。

而時大会。聞説是經。皆大歡喜。

信受奉行。

仏説聖不動經

三十六童子

矜迦羅童子

不動恵童子

無垢光童子

智恵幢童子

召請光童子

羅多羅童子

伊醯羅童子

獅子恵童子

持堅婆童子

法挾護童子

大光明童子

仏守護童子

僧守護童子

虚空護童子

制陀迦童子

光網勝童子

計子伽童子

質多羅童子

不思議童子

波羅波羅童子

獅子光童子

阿波羅底童子

利車毘童子

因陀羅童子

小光明童子

法守護童子

金剛護童子

虚空蔵童子

宝蔵護童子 ほうざうご

戒光恵童子 かいこうゑ

普香主童子 ふかうしゆ

波利迦童子 はりか

聖無動眷属 しやうむどうのけんぞく

各領三万童 おののくれうせんまんどうを

千万億悪鬼 せんまんおくのあくき

誦此童子名 じゆすればこのとうじのなを

若有苦厄難 もしあらんくやくのなん

当呼二童子号 まさによぶ どうじのみなを

忝敬礼拜者 くじやちらいはいするもの

如影随形護 ことくにかげのしたかぶがたちにももる

八大童子 はちだい

惠喜童子 ゑき

指德童子 しとくとう

清淨童子 しやうじやう

吉祥妙童子 きちやうめう

妙空蔵童子 めうくうざう

善佈師童子 ぜんに

烏婆計童子 うばけい

三十六童子 さんじふろく

本誓悲願故 ほんせいひくはんのゆへに

燒乱行人一時 にようらんせんぎやうにんをとま

皆悉退散去 みなことごとくたいさんしさを

怨咀病患者 おんそひやうけんのものほ

須臾得二吉祥 しゆにつゑん きちしやうを

不離於左右 はずなれ ざゆうを

獲得長壽益 ぎやくとくせしむちやうしゆのやくを

惠光童子 ゑくわう

阿耨達多童子 あにくたつた

烏俱婆識童子 かくは きやう

矜羯羅童子 とんがら

制陀迦童子 せいだかどうじ

舍利礼經 しやりらいきやう

一心頂礼 いつしんちやうらい

釈迦如来 しやくかにようらい

本地法身 ほんちほつしん

我等礼敬 がとうらいきやう

入我我入 にうがが にう

我證菩提 がじやうぼ だい

利益衆生 りやくしゆじやう

修菩薩行 しゆぼさつぎやう

平等大智 びやうどうだいぢ

六根清淨大祓 むつねをきよきむむるおほはらい

天照皇大神乃宣久人波則天 あまてらすめおんかみのたまはくひとはすはらあめが

下乃神物 須挙静謐心 したのみたまものなすへかたしめしごまごころをかたむくころは

則神明乃本主 他利莫令傷心 すなはちかみかみそのまののたまひたすしやうたすしむ

神是故目諸不淨 見 ことなかれこのいへにめにもろくのみじやうをみ

万徳円満 まんとくえんまん

真心舍利 しんじんしやり

法界塔婆 ほうかいとうぼ

為我现身 いがけんしん

仏加持故 ぶつがじこ

以仏神力 いぶつしりき

發菩提心 ほつぼ だいしん

同入円寂 どうにうえんじやく

今將頂礼 こんしやうちやうらい

こゝろにもろく(のふじやうをみつみ、にもろく)
心仁諸乃不淨不見耳仁諸

乃不淨聞天心仁諸乃不淨
をまかすはにもろく(のふじやうをかひて

不聞鼻仁諸乃不淨平嗅
こゝろにもろく(のふじやうをかすくちにもろく)

心仁諸乃不淨平不嗅口諸
のふじやうをいひてこゝろにもろく(のふじやう

乃不淨平言心仁諸乃不淨
をいはずにもろく(のふじやうをふれて

不言身仁諸乃不淨平触
こゝろにもろく(のふじやうをふれずこゝろにもろく)

心仁諸乃不淨平不触意仁諸
のふじやうをおもひてこゝろにもろく(のふじやう

乃不淨平思心仁諸乃不淨
をおもはずこのときいきよくいきよきことあ

不想此時清潔与纏偈
りもろく(のりはかげとかなちのごときま

諸乃法波影像乃如之清
くまよければかりにもきたなきことなしこと

淨礼波飯仁穢無之説
をとらばうへからずみなはなりぞこの

取波不可得皆花与甲曾木
みとはなるはがみはずなわろくごんしやう

実生留我身則六根清
しやうなりろくごんしやうなるかゆへに

淨奈利六根清淨奈留我故
ごさうのしんくんあんねいなりこさうの

五臟乃神君安寧奈利五臟乃
しんくんあんねいなるがゆへにてんちの

神君安寧故仁天地
乃

かみとどうごんなりてんち乃かみとどう
神止同根奈利天地乃神止同

根奈留我故仁万物靈同
ごんなるかゆへにばんもつのれいとどう

体奈利万物靈同体
たいなりばんもつのれいとどうたひなる

故所為無願而不成就矣
がゆへになすところのねがひをしてじやうせずといふことなし

無上靈美両分神道加持
むじやうれいほうりやうぶしんどうかじ

三種太祓

吐普加身依身多女寒言神尊
とふかみへみためかんごんしんそん

利根陀見波羅伊玉意喜余日
りこんだけんはらいたまいきよめ

出玉

一切成就祓

極汚滯無穢有羅
きわめてきたなきたまりなけれはきたなきことあ

内外玉垣清淨申
しうちとのたまききかきよしとまうす

身曾貴太祓

たかまのほらにかみりとまりましますすめむもかみろ
高天原 神留座 皇親神漏

ぎかみろ みのみことをもつてひうがのたちはな
岐神漏美命 以日向橋

のあをきがはらのこのはしらのかみあはのみとをよびはや
乃憶原 九柱乃神粟門及速

すふなとの むはしらのかみたちもくくのけ
吸名門乃六柱乃神達諸乃汚

がれをほらひたまいきよめてたまくとまふすことの
穢祓賜清賜 申寿事乃

よしと きをしかのやつのおほんみやをふりたて
由左男鹿乃八耳振立

てきこしめせともふす
天聞食申寿

しんきやう
心経
ふつしんこん
佛神号

おんぼたるしやに
そほか
佛眼佛母

あひらうんげん
はさらだんげん
大日如来

なうまくさんまんだ
ぼだなんほく
釈迦如来

おんあらぼしや
なうそほか
文珠菩薩

おんさんまや
さどほん
普賢菩薩

おんあきしゆ
ひやうん
阿(シユク)如来

おんあらたんなう
さんぼんぼだらく
宝生如来

おんろけいしんぼら
あらんじやきりく
無量寿

おんあほきやしつ
ていあく
不空成就

おんあみりたてい
せいからうん
阿弥陀如来

おんごうせんか
だりまどうきそほか
薬師如来

おんぼさたらま
きりくそわか
千手観世音

おんあろりきや
そわか
正観世音

おんあみりとうとばん
ばらんぼつたそわか
馬頭観世音

おんまかきやろに
おんしやれいそわい
十一面観世音

おんしやれいそわい
しゆんでいそわか
準胝観世音

おんほんどめいじんこま
おんはらうんそわか
如意輪観世音

おんしべいていく
おんだらぼらにそわか
白衣観世音

おんさんさんさん
さくそわか
勢至菩薩

おんかかかびさん
まゑいそわか
地藏菩薩

おんまいだれいやあ
そわか
弥勒菩薩

おんほうあきやしゆきやあはや
おんありきやまりほりそわか
虚空蔵

おんそらそべてい
ゑいそわか
弁財天

大黒天

おんまかきやらや
そわか

駄积尼天

おんだきにきやなき
やかなうゑいそわか

聖天

おんきりくきやく
らんそわか

摩利支天

おんまりしゑい
そわか

吉祥天

おんまかしりや
ゑいそわか

愛染明王

うんだきうんじやく
うんしつち

妙見大菩薩

おんせしりしゆだ
そわか

加利帝母

おんとゝまりきや
きていそわか

三部

おんあさは
そわか

伊舍那天

おんいじやなや
そわか

帝釈天

おんいんたらや
そわか

火光尊

おんあきやなう
ゑいそわか

焰魔天

おんゑんまや
そわか

羅刹天

おんちりちゑい
そわか

水雨天

おんぼろたや
そわか

吹風天

おんぼやへい
そわか

多聞天

おんべいらまん
だやそわか

大梵天

おんほらかんまね
いそわか

持地天

おんびりちびゑい
そわか

日天

おんあにちやや
そわか

月天

おんせんたらや
そわか

富士浅間

おんまかきやらに
きやそわか

御嶽座王大権現 真言口伝

意和羅天

同

大頭羅神王

同

力利天宮

同

金毘羅大権現 おんきぼらしやう
そわか

秋葉大権現 おんひらくけんひら
けんふそわか

三宝大荒神 おんけんぼやく
そわか

妙義大権現 おんろけいじんはら
きりくそわか

阿留摩耶天狗

呪口伝

法起菩薩 おんさうへいはら
やそわか

藏王菩薩 おんざあへんたら
やそわか

孔雀明王 おんまゐらぎらん
ていそわか

神変大菩薩 真言口伝

青面金剛明王 おんていばやましやはんだ
はんだかかそわか

光明真言

三宝大荒神 おんけんばやく
そわか

諸天善神 おんろぎやく
きやらやそわか

当国当所鎮守

日本大小神祇

東方降三世夜刃明王 おんそんぱはにそんは
はさらうんはつたは

南方軍蔡利夜刃明王 おんあみかてい
うんはつた

西方大威徳夜刃明王 おんしやちりきやら
ろはうんけんそはか

北方金剛夜刃明王 おんばさらや
きしやうん

中央大日大聖不動明王

なうまくさらばたゝきやてはびやく

さらばほ〇けいびやくさらばたゝらたせん

だんまかろしやだけんぎやきゝ

さらば〇ひきなんうんたらたかんまん

〇なうまくさんまんだばさらだんせんだんまか

ろしやだ〇そわたやうんたらたかんまん

〇なうまくさんまんだはさらだんかん

四句文 すくふん

見我身者 けんがしんしや 発菩提心 はつぼだいしん

聞我名者 もんがみやうしや 断惑修善 だほくしゆぜん

聴我説者 ちやうがせつしや 徳大智慧 とくだいちゑ

智我心者 ちがしんしや 即心加持 そくしんかし

荒神四句文 こうしんすくふん

本体真如住空利

寂定安樂無畏者

鏡智慈悲利生故

運動去來名荒神

自性心檀內護摩道場

本覺法身本有如來

愛敬納受降臨影向

法力成就勘万保論

天下泰平国土安穩

講中安全災難消除

七難則滅七福即生

家内繁昌息災延命

諸願成就皆令滿足

一切補闕分為大金剛輪陀羅尼

なうまくしつちりや○おびきや○なん

たゝきやたなんあんひらじ○びらじ

まかしやきやら○はじり○さたゝさられてい

くたらいくびたまにさんぼんしゆにたら

まち○しつた○きりや○たらんそはか

一字金輪真言

なうまくさんまんだばだなんほろん

五輪観 □伝

蓮華三昧 □伝

金剛合掌 □伝

九字印明 □伝

三部甲被 □イ 弾指

普礼

以上

右者我等師匠

御嶽山武尊山中興開闢致シタル

此師匠隨身之面々経等順逆

覚度由我等順逆等ヲ不存甚

愚昧ナル者ナレトモ師匠五帰依ノ

明友ノ願ニ依テ跡ヤ先不レ知レ之順

逆ナレモ朝暮我等看経ノ通り書

記シ 御山ヲ知ラセ師匠木食

普覚両山開闢ヲ披露ノ為ニタラ

ハズナガラ経等開版仕候

木食普覚弟子

木食泰賢

明岳院 広山

信州松本本町二丁目

高美屋甚右エ門

同 善光寺

蔦 屋伴五郎

書林

同 伊奈郡板木所

九 中重治兵衛

『御嶽経』（口本）

〔前欠〕

〔乃〕^の 狂事令在^{□□□□}令発〔自止〕^{じと} 制約〔志尔奈茂〕^{しになも} 在〔介留〕^{あり}
 其依〔志〕^{たま} 給〔布〕^{かたち} 状〔波〕^{わがすめみまのろごとの} 我皇孫命〔乃〕^{しろうめさ} 所知食^を
 〔武〕^む 国〔尔〕^{くに}。天〔津〕^{あま} 罪国〔津〕^{つみくに} 罪。雑々〔乃〕^{つみいでき} 罪出来
 〔奈波〕^{なば}。天〔津〕^{あま} 宮事〔止〕^と。天〔津〕^{あま} 金木〔乎〕^を。本打切未^{もとらきりすま}
 打断〔乎〕^を。千座〔乃〕^{ちくら} 置座〔尔〕^{おきくら} 置足〔波志〕^{おきたら}。天〔津〕^{あま} 管
 曾〔乎〕^を。本打断未打切〔乎〕^{もとらりたすあかりきり}。八針〔尔〕^{やかり} 取割〔乎〕^{とりきり}。
 天〔津〕^{あま} 祝詞〔乃〕^{のりごとの}。太祝詞事〔乎〕^{ふごのりごと} 宣〔良世〕^{のらせ}。如此宣^{かくのら}
 〔盤婆〕^{さば}。天〔津〕^{あま} 神〔波〕^{かみ}。天〔津〕^{あま} 盤門〔乎〕^{いはと} 推披〔支〕^を。天
 八重雲〔乎〕^を。伊頭〔乃〕^{いづの} 道别〔尔〕^{ちわき} 道别〔乎〕^{ちわき} 所聞^{をきこ}
 食〔之〕^{めし}。国〔津〕^{くに} 神〔波〕^{かみ}。高山〔乃〕^{たかやま} 末〔乎〕^{すま}。短山〔乃〕^{ひきやま} 末〔尔〕^{すま}

登〔利〕^{のり}。伊穗理伊穗理〔乎〕^{いほりいほり} 播别〔乎〕^{かきわけ} 所聞食^{きこめさ}
 〔武〕^む。如此所聞食〔婆〕^{かきこしめし} 被戸〔乃〕^{はらひと} 神等。相諾〔比〕^{あひうづなひ}
 坐〔乎〕^を。皇孫命〔乃〕^{すめみまのろごとの} 朝廷〔乎〕^{みかど} 始〔乎〕^{はじめて}。天下四方^{あめつたし}
 国〔尔〕^{くに} 波。罪〔止〕^{いふつみ} 云罪〔波〕^{いふつみ} 遣〔左自止〕^{しなごのかせ}。科戸風〔乃〕^{しなごのかせ}。天
 〔乃〕^の 八重雲〔乎〕^を。吹放事〔乃〕^{ふきはなつこと} 如〔久〕^{こと}。朝〔乃〕^{あしたの} 御霧^{みぎり}
 夕〔乃〕^{ゆふべの} 御霧〔乎〕^を。朝風夕風〔乃〕^{あさかぜゆふかぜ} 吹放事〔乃〕^{ふきはなつこと} 如
 〔久〕^く。大津辺〔尔〕^{おほつべ} 居大船〔乎〕^{をるおほぶね}。船解放鱸解放^{へちまはなちとまはなち}
 〔乎〕^を。大海原〔尔〕^{おほわたのほら} 押放事〔乃〕^{おしはなつこと} 如〔久〕^{こと}。彼方〔乃〕^{をちた} 繁
 木〔實〕^き 本〔乎〕^{もと}。焼鎌〔乃〕^{やきがま} 敏鎌〔乎〕^{とがま} 以〔乎〕^{もち}。打扨事^{うちはらふこと}
 〔乃〕^の 如〔久〕^{こと}。被給〔比〕^{はらひたまひ} 清給〔武〕^{きよめたまひ}。天下〔尔〕^{あめのした} 罪〔登〕^{つみと} 云
 罪〔波〕^{つみ} 不遣。是被給〔比〕^{このはらひたまひ} 清給〔布〕^{きよめたまひ} 神業〔波〕^{みやま}。瀬
 織〔津〕^{おり} 比咩神〔波〕^{ひめのかみ}。高山〔乃〕^{たかやま} 末〔乎〕^{すま}。短山〔乃〕^{ひきやま} 末〔與利〕^{すまより}。
 落多芸〔都〕^{おちたぎ} 速川〔乃〕^{はやかは} 瀬〔尔〕^せ 座〔乎〕^ま。大海原〔尔〕^{おほわたのほら}
 持出給〔比〕^{もちいでたまひ}。如此持出給〔反婆〕^{かくもちいでたまひ}。伊頭咩神〔波〕^{いづめのかみ}。
 荒塩〔乃〕^{あらしほ}。塩〔乃〕^{しほ} 八百道〔乃〕^{やほち}。八塩道〔乃〕^{やしほち}。塩〔乃〕^{しほ}
 八百会〔尔〕^{やほち} 待取〔志〕^{まちうら}。持可可吞給〔比〕^{もちかへのみたまひ}。如此

可^か吞^の吞^の給^{たま} 反^か婆^は。氣^い吹^き戸^こ主^{ぬし}神^{かみ} 波^{なみ}。氣^い吹^き戸^こ 尔^に
 座^ま 尔^に。根^ね国^{くに}底^こ国^{くに} 尔^に。氣^い吹^き放^{はな}給^{たま} 比^ひ。如^か此^{かく}氣^き
 吹^き放^{はな}給^{たま} 反^か婆^は。速^{はや}佐^さ須^す良^ら比^ひ咩^め神^{かみ} 波^{なみ}。根^ね国^{くに}底^こ

国^{くに} 尔^に 座^ま 尔^に。持^も佐^さ須^す良^ら比^ひ。失^う比^な 尔^に 布^ふ 尔^に 尊^ぞ 在^{ある}
 尔^に 止^と。事^{こと}誨^を 閉^と 論^{ろん} 志^し 给^{たま} 支^き。此^{この}所^{いは}縁^は 尔^に 因^{より} 尔^に 尔^に 因^{より} 尔^に 尔^に。大^や
 和^と国^こ 尔^に 乃^の 權^か原^{げん}宮^{みや} 尔^に。始^は駁^{はく}天^{てん}下^か 志^し。天^{てん}皇^{すい}命^{めい}
 乃^の 御^{おん}世^{せい} 尔^に 乃^の 御^{おん}手^て風^{ふう} 止^と。天^{あめ} 乃^の 御^{おん}業^{わざ}
 止^と 行^{おこな}给^{たま} 志^し 随^ま 尔^に。御^{おん}代^{だい} 御^{おん}代^{だい} 尔^に。年^{とし}端^は 尔^に 臨^ま

時^じ 尔^に。上^とりおこなひたまへり 如^か此^{かく} 連^れ婆^は。今^け日^ふ 志^し母^も。信^{しん}濃^{のう}国^{こく}
 尔^に 乃^の 木^き 曾^そ 尔^に 御^{おん}嶽^{たけ} 尔^に 座^ま 尔^に 須^す 神^{かみ}等^ら 乎^を 拜^ま奉^{かう} 利^り
 祝^{いは}奉^{かう} 止^と 为^て 尔^に。過^{あや}犯^{まち} 計^{けい}武^ぶ 罪^{つげ}穢^{けつ} 平^{へい}良^ら。遺^い 佐^さ自^じ止^と 仕^{つか}
 奉^{まつ}事^{こと} 尔^に。惟^か神^{かみ} 母^も 所^{きこ}聞^み食^め 止^と。畏^{かしこ} 美^み 畏^{かしこ} 美^み 母^も 白^ま
 尔^に 須^す

天津祝詞

高^{たか}天^{あま}原^{つら} 尔^に 神^{かむ}留^り坐^ま 尔^に 須^す。神^{かむ}漏^{ろう}岐^き 神^{かむ}漏^{ろう}美^み 乃^の

命^{みこと}以^{もち} 尔^に。皇^{すめ}御^み祖^{おや} 神^{かむい}伊^い邪^や那^な岐^き命^{めい} 尔^に。筑^{つく}紫^し
 酒^の 日^ひ向^{むか} 尔^に。乃^の 橋^{はし} 酒^を 小^せ門^{もん} 尔^に。乃^の 阿^あ波^は岐^き原^{げん} 尔^に。御^{おん}
 祢^ね祓^は给^{たま} 布^ふ 尔^に。時^{とき} 尔^に 生^あ坐^ま 留^り。敝^は戸^こ 尔^に。乃^の 大^{おほ}神^{かみ}等^ら
 諸^{もろ} 能^の 狂^ま事^{こと}罪^{つみ}穢^{けつ} 乎^を。被^は给^{たま} 閉^と 清^{きよ}给^{たま} 閉^と。白^ま 尔^に 須^す
 事^{こと} 尔^に 乃^の 由^{よし} 乎^を。天^{あま} 津^つ 神^{かみ} 国^{くに} 津^つ 神^{かみ}。八^や百^{ひゃく}萬^{まん}神^{かみ}等^ら
 共^{とも} 尔^に。天^{あめ} 乃^の 斑^{ふち}駒^{こま} 尔^に。耳^{みみ}振^{ふる}立^た 尔^に。聞^{きこ}召^め 尔^に 止^と。畏^{かしこ}
 美^か 畏^{かしこ} 美^み 母^も 白^ま 尔^に 須^す

遙拝詞

真^ま篤^{あつ}尙^{しやう}。信^{しん}濃^{のう}国^{こく} 尔^に。筑^{つく}摩^ま郡^{ぐん}。筑^{つく}摩^ま郡^{ぐん}の^の人^{ひと}は此^{これ}乃^の郡^{ぐん}と
 云^いべし下^{しも}なるも同^{おな}じ。岐^き岨^{じゆ}里^り人^{ひと}は此^{これ}里^りと云^いべし下^{しも}なる
 も同^{おな}じ。奈^な留^り。御^{おん}嶽^{たけ}山^{さん} 尔^に。鎮^{ちん}座^ざ坐^ま 尔^に 須^す。大^{おほ}己^{おの}貴^き神^{かみ}
 少^{すくな}彦^{ひこ}那^な神^{かみ}。二^{ふた}柱^{はしら} 尔^に。乃^の 大^{おほ}神^{かみ} 乎^を。始^は奉^{かう} 尔^に。八^や海^{かい}
 山^{さん} 尔^に。座^ま神^{かみ}。三^{さん}笠^{かさ}山^{さん} 尔^に。座^ま神^{かみ}。枝^{えだ}宮^{みや}枝^{えだ}社^{しゃ} 尔^に
 座^ま神^{かみ}等^ら。又^{また} 御^{おん}山^{さん} 尔^に。乃^の 坂^{さか}路^ち踏^ふ分^{わけ} 尔^に。尔^に 须^す。仕^{つか}奉^{かう}初^{はつめ}
 志^し。人^{ひと}等^ら 乃^の 靈^{たま}神^{かみ} 尔^に。乃^の 御^{おん}前^{まへ} 尔^に。至^{いた} 尔^に。乃^の 泥^{どろ}。慎^{つし} 美^み 敬^{うや}ま

〔比〕畏〔美〕畏〔美母〕遙〔尔〕拜奉〔言〕白〔佐久〕挂卷〔毛〕

畏〔支〕天照大御神〔乎〕始奉〔言〕天〔津〕神国

〔津〕神〔乃〕治給〔比〕守〔利〕給〔布〕神德〔乃〕限〔尔〕波

在〔良〕泥。尚可然。恩頼〔乎〕賜〔良武止〕仕奉祈白

〔須〕状〔乎〕。見行〔志〕聞召〔世止〕白〔須〕。然〔久〕祈白

事〔波〕大神〔乃〕広〔支〕厚〔支〕神靈〔乃〕幸〔尔〕依

〔言〕罪〔乎〕免〔志〕給〔比〕過〔乎〕婆〔志〕給〔比〕災〔乎〕婆

防〔宜〕給〔比〕。幸〔乎〕婆〔授給〕〔比〕貧〔乎〕婆〔富〕〔志〕給〔比〕。

賤〔乎〕婆〔登〕〔宜〕給〔比〕。疾病〔乎〕婆〔平〕愈〔志〕給〔比〕。庇

弱〔乎〕婆〔健康〕〔可〕良〔志〕。命〔乎〕婆〔延〕〔倍〕給〔比〕。子

孫〔乎〕婆。令統給〔武〕止〔奈〕利。如此守給〔比〕。幸給

〔波〕婆。己〔我〕向々。応分〔乃〕功統〔乎〕立〔言〕。此世

〔波〕更〔奈〕利。歿後〔乃〕栄福〔乎〕毛。贖〔都〕倍久〔奈〕武。如此

称賛辞竟奉。祈白礼美〔止〕為〔言〕。講中等

同一心〔尔〕。御酒〔波〕。甌戸高知。甌腹満並

〔倍〕御食〔波〕。甘稲堅塩清水〔乎〕始〔言〕。山野

物。海河物〔尔〕至〔万〕言。種々〔尔〕備奉〔言〕。平〔介〕久

安〔介〕久。聞召歡喜給〔倍〕止。畏〔美〕畏〔美母〕白〔須〕

降神詞

真篤苜。信濃国〔乃〕。筑摩郡。岐祖〔乃〕里〔奈〕留

御嶽山〔尔〕鎮座坐。大穴牟遲神。少彦那

神。二柱大神〔乎〕。始奉〔言〕。八海山〔尔〕座神

三笠山〔尔〕座神。枝宮枝社〔尔〕座神等。又

御山〔乃〕阪路。踏分〔言〕。仕奉初〔志〕人等。別

〔尔〕。此里〔乃〕主神〔止〕坐。某神此神等〔乃〕分

魂諸。此〔乃〕設奉〔礼〕留神床〔尔〕。天翔来集座

〔言〕。祈白事〔乎〕。所聞召〔止〕。畏〔美〕畏〔美母〕白〔須〕

奉齋詞

今日〔乃〕日〔乎〕。吉目〔止〕擇〔言〕。此〔乃〕小床〔乎〕

伊豆〔乃〕御座〔止〕。掃〔比〕清〔采〕言。招奉〔利〕合座

〔礼留〕。御嶽山〔尔〕座。大神〔乎〕始奉〔三〕八海山

〔止〕。三笠山〔止尔〕座神。枝宮枝社〔尔〕座神等。

又。併〔三〕招奉〔礼留〕。此里〔乃〕主神〔乃〕。御前〔乎良〕。

常〔毛〕仕奉〔留〕。講中等。齋麻波利清麻波

利〔三〕慎〔美〕敬〔比〕。畏〔美〕畏〔美母〕白〔左久〕神風

〔乃〕。伊勢国〔乃〕。佐玖鈴。五十鈴〔乃〕宮〔尔〕座

〔須〕。天照大御神。八雲立。出雲国〔乃〕。八穂

米杵築宮〔尔〕座。大国主神〔乎〕始〔三〕。天〔津〕

神国〔津〕社〔止〕。国々郡々〔尔〕座〔三〕。天皇〔賀〕

朝廷〔乎〕守奉〔利〕。幸給〔布〕神聴〔波〕。大〔支〕小

〔支〕。広〔支〕狭〔支〕。種々〔乃〕異〔許留〕在〔左米〕。取給〔三〕

申〔武尔波〕。天皇命〔乃〕。大御命〔乎〕。手長〔乃〕大

御命〔止〕。湯津磐村〔乃〕如〔久〕。常磐〔尔〕。堅石

〔尔〕。幸給〔たまひ〕。生坐皇子等〔乎毛〕。恵給〔比〕。百官

人等。天下〔乃〕。百姓〔尔〕至〔麻泥〕。長〔久〕平〔介久〕。作

〔利〕食〔留物〕乎。豊〔尔〕令榮給〔比〕。天皇朝廷

〔乎〕。平〔介久〕安〔介久〕。足御世〔乃〕。茂御世〔尔〕。守坐

〔三〕。谷蟻〔乃〕。狭波〔留〕。極〔留〕。塩沫〔乃〕。留〔留〕。限。狭

国〔波〕。広〔久〕。嶮山〔波〕。平〔介久〕。遠園〔波〕。八十綱

打挂〔三〕。引寄〔留事〕乃。如〔久〕。依〔志〕奉給〔布〕

外〔波〕。有〔自止奈母〕。府県。区々村々〔尔〕座坐。長

社〔乃〕神等〔乃〕。此神聴〔乎良〕。取給祢持分〔三〕。

治給〔布〕上〔波〕。誰〔加〕其御陰〔尔〕。漏〔留〕。事有

〔武〕。大神〔母〕。其〔社〕〔尔〕。定〔利〕給〔閉婆〕。其制〔乃〕

随〔尔〕。數給〔比〕。治給〔武〕。然〔乎〕。嘗〔與利〕。仕奉来

〔志〕縁〔止〕。法令〔乃〕他〔奈留〕。私〔乃〕守護〔乎〕。特〔尔〕

乞申〔三〕。猶可然恩頼〔乎〕。豊〔尔〕手豊〔尔〕。賜

〔良武止〕為。是清〔久〕明〔支〕心〔乎〕。見行〔志〕。聞召

〔三〕婆。祈申〔須〕随〔尔〕。罪〔乎婆〕免〔志〕給〔武〕。過〔乎婆〕。喩

〔志〕給〔武〕。狂事〔乎婆〕直〔志〕給〔武〕。災〔乎婆〕防〔宣〕給

〔武〕。幸〔乎婆〕授〔介〕給〔武〕。貧〔乎婆〕富〔志〕給〔武〕。賤〔乎婆〕

登〔介〕給〔武〕。尪弱〔乎婆〕。令健康給〔武〕。疾病〔乎婆〕

平愈〔志〕給〔武〕。命〔乎〕婆〔延〕倍〔給〕武。子孫〔乎〕母。彌
續々〔尔〕。令榮給〔武〕。如此守給〔比〕。幸給〔波〕婆。

枉神〔乃〕枉事〔尔〕。相交〔利〕相口合〔布〕事無

〔志〕。世〔乃〕職業〔尔〕。勉強締〔利〕勤勞〔美〕都々。己

〔我〕分限。相應〔乃〕功績〔乎〕積〔志〕。歿後〔乃〕榮

福〔乎〕毛。遺〔都〕倍久奈武。如此稱辭竟奉。願白誓

奉〔正〕為〔志〕。講中等。同一心〔尔〕。慎〔美〕敬〔比〕。

畏〔美〕畏〔美〕母。御衣〔波〕。明和幣照和幣。御酒

〔波〕。甌戸高知。甌腹滿竝〔倍〕御食〔波〕。甘稻

堅塩清水〔乎〕始〔志〕。山物野物。海河物〔尔〕

至〔万〕泥。机代〔正〕置足〔波〕志〔奉〕利。過犯事〔乃〕

有〔武〕乎婆。神直日大直日〔尔〕。見直〔志〕聞直

〔志〕坐〔志〕。奉〔留〕幣帛〔乎〕。平〔介〕久〔安〕介久。所聞

歡喜〔支〕給〔邊〕止。鹿自物折伏。鶴自物頸

根突抜〔志〕。畏〔美〕畏〔美〕母。申奉〔良久〕止。白〔須〕

辭別〔志〕。邑〔乃〕主神〔乃〕。御前〔尔〕白〔左久〕。如此

乞祈申〔須〕由〔乎〕。聞召〔志〕。同心〔尔〕。守幸〔聞〕
給〔幣〕止畏〔美〕畏〔美〕母。白〔須〕

昇神詞

此〔乃〕神床〔尔〕。天翔來集坐〔留〕。御嶽山〔乃〕

大神〔毛〕。他神等〔毛〕。御心〔乃〕隨〔尔〕本社〔尔〕

歸出坐〔止〕。畏〔美〕畏〔美〕母。白〔須〕

御山〔尔〕參登〔利〕手。白〔須〕詞

此〔乃〕御山〔乃〕。頂〔尔〕鎮座〔天〕。四方〔乃〕國々

〔乃〕。崇敬申〔須〕。忠實人等〔乎〕。守坐〔志〕。幸給

〔乃〕。我大神〔乃〕。太前〔乎〕。慎〔美〕敬〔比〕。白〔左久〕。常

稱辭白〔須〕隨〔尔〕。守坐〔志〕。惠給事〔乎〕。忝〔奈〕美

嬉〔美〕奉〔理〕。遙々〔尔〕。參登來〔志〕。幣代〔乃〕物

奉〔利〕。拜奉〔利〕。報賽申〔須〕形〔乎〕。愛〔志〕止。見行

座〔志〕。歿後兼〔天〕。守幸給〔倍〕止。畏〔美〕畏〔美〕母。白

奉〔良久止〕白〔須〕

称讚歌

與母豫素微。彌波留加志滿斯。加美餘與
 利。岐岨能美多計尔。麻志末斯爾耶牟
 味志和多斯。米具美末佐武止。加美容用
 利。岐岨乃御耶摩袁。志幾摩斯尔計鶴
 味米具美能。志留斯加志許微。阿麻曾々
 流。岐岨能多計尔波。麻爲季楚米祢牟
 瀾遠佐免能。伊佐袁太不登微。阿志麻文
 乃。岐岨能也磨尔波。能凡利曾米計務
 阿麻津加美。久邇都楊志呂乃。美佐知袁
 良壽倍志良須羅斯。加微乃美許登波
 阿麻津加美。久邇都耶志呂乃。伊佐袁乎
 良。和氣母多須良斯。加微乃美許登波
 安佐由布尔。和禮波古飛能武。志那濃奈

流。岐岨乃美多計能。多加伎美加宜遠
 與止登毛尔。和礼波加志許牟志那濃奈
 流。岐岨乃御屋万能。布加伎米供美遠
 津微阿留母。阿也麻知安流毛。遊留志麻
 斯。佐登志多滿波武。多加伎御加牙尔
 倭邪波飛毛。末多左幾波此母。布勢義麻
 斯。佐豆計多万波武。布加幾米具美尔
 末頭志幾母。末多移也志幾毛。登末斯麻
 志。須々米多末波武。岐岨乃美加微波
 與和伎袁婆。津譽米多麻波武。野迷留遠
 婆。易駄志多滿波武。岐岨乃美加微波
 伊能知遠婆。能婆倍多末播武。宇微乃許
 母。津豆計多麻芳武。岐岨乃美加微波
 加久麻母里。米具美多万波婆。末賀加美
 尔。末自許羅礼免也。登毛乃此登良波
 末賀加美尔。麻自古良礼授婆。與乃和謝

邇。伊曾斯加良殿也。登母乃此登良波
世乃和藏尔。伊曾斯久阿良婆。保杼保特
乃。伊佐袁太々渥也。登毛乃比登良波
久佐具左乃。伊差遠乎都美天。宇瀨能古
耳。佐知乎追當遠無。倭我登毛乃古良
保杼保特乃。伊差鳥志太々婆。能知乃與
乃。佐加延止奈良武。和我登母乃許良
能知乃與尔。太努志久阿良婆。能知乃與
毛。加美尔津加邊武。和我登母乃許良
能知乃與尔。佐加曳天阿良婆。許登乃麻
尔。怡隆袁滿母良武。和我登母乃許良
志奈濃奈留。岐岨乃御多計尔。韋留久毛
能。志呂支袁加美乃。美佐知尔波寐牟
志奈濃那留。岐岨乃味也末尔。布留噲紀
能。菟母留乎登毛乃。伊佐遠尔波勢牟
志奈濃那留。岐岨乃美多計能。俱毛幾利

遠。和氣能凡利計留。比登之登毛斯茂
志奈濃那留。岐岨乃美也末乃。以波祢伎
渥。扶微倭祢尔計留。比登之由加斯毛
多麻知波布。加美尔津加邊天多麻知波
布。加美之伊佐袁乎。那保阿良波左南

あはせではちまりいづた
合三二十餘五歌

版權免許

明治十年七月廿七日

出版

同年八月

神道第三部

栃木縣平民

編輯人 大講義

青木幸躬

信濃国筑摩郡南深志町寄留

同

長野縣士族

出版人

御嶽神社司官
兼灌少講義

向井容所

同国同郡福島村居住

山の文化史研究会（やまのぶんかしけんきゅうかい）

河内聡子（かわち・さとこ／信州大学人文学部学生）

清水葵（しみず・あおい／信州大学人文学部学生）

小嶋志織（こじまし・おり／信州大学人文学部学生）

小林ゆかり（こばやし・ゆかり／信州大学人文学部学生）

佐藤三千恵（さとう・みちえ／信州大学人文学部学生）

渡辺匡一（わたなべ・きょういち／信州大学人文学部助教授）

發兌書林

信州松本南深志町

高美甚左衛門